

2024年1月29日

課題名：冠動脈穿孔に対する治療内容と予後についての検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、狭心症や心筋梗塞に対してのカテーテル治療（経皮的冠動脈インターベンション）を受けた方の入院および退院後の転帰を調べています。カテーテル治療においては低い確率ではありますが、手技の合併症として冠動脈から出血する冠動脈穿孔が生じる可能性があります。本研究では、どのような患者さんが冠動脈穿孔を生じ、またどのような治療を受けた方が良好な入院転帰を迎られているかを検討し、今後治療を予定されている方が冠動脈穿孔を発症した際のよりよい治療方法を検討することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2006年1月から、2023年10月までの間に、経皮的冠動脈インターベンションを受けた方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、BMI、既往歴、症状の有無、併存疾患の有無、治療内容、治療による合併症の有無、採血データ（治療前後）、心エコーデータ（治療前後）、治療後から2024年1月までの転帰。

◆情報の研究利用開始日◆

2024年2月13日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（電子カルテ）からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
循環器内科 研究責任者 澤山裕一

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明